



研修だより

令和7年度の学びの振り返り

令和7年度には筑波大学附属小学校算数部の田中英海先生をお招きし、「算数の世界を広げる子どもの育成」「算数らしく学ぶこと」について教えていただきました。今年度の取組にいかすために、改めて振り返ります。(令和7年度研修だより No.4 と No.6 から抜粋しています)

算数の世界を広げる子どもの育成 (筑波大学附属小学校 算数部 田中英海 先生)

6月27日(金)、筑波大学附属小学校 田中英海先生をお招きし、2年生の授業参観をしていただきました。今年度は「算数の世界を広げる子どもの育成」についてご講話をいただきました。

算数の世界を広げる子どもの育成 「既習事項・経験から 算数を()」

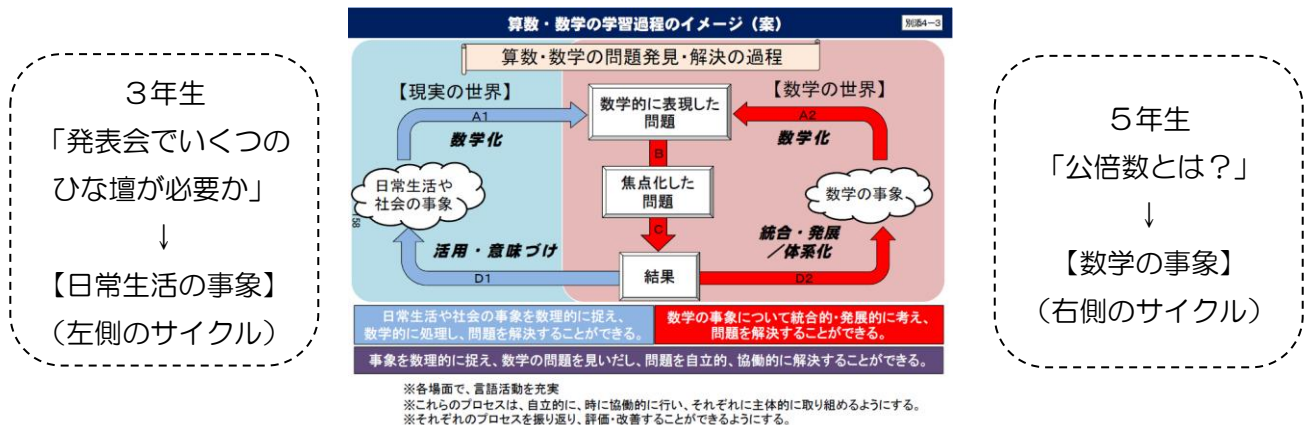
- (1) 大事な見方・考え方、発見させたい数学的な見方・考え方を()
- (2) ()とのつながり、発見をほめる
- ()に気付かせる 言語化させる } そのために観る

【算数の授業・学習における教師の役割】

- ① ()をめあてにする (既習と未習の区別・困っていることは?)
- ②見方・考え方を引き出す (どうしてそうなる?どうしてそう考えたの?)
- ③ ()を価値づける (そうすると、いいことは?)
- ④ ()的・()的に考える視点 (今までと似ているところは?同じ考え方だね。)

児童自ら「算数らしく学ぶ」ために (筑波大学附属小学校 算数部 田中英海 先生)

9月19日(金)、筑波大学附属小学校 田中英海先生をお招きし、3年生と5年生の授業参観をしていただきました。今年度は「算数らしく学ぶ子どもの育成」についてご講話をいただきました。



(算数・数学ワーキンググループにおける審議の取りまとめについて (報告) より)

授業づくりで意識すべきことは・・・

- ◎児童の反応を見ながら、めあてを柔軟に変えていく (めあてを複数想定しておく)
- ◎単元のまとめには日常問題を設定する
- ◎日々の授業の中で多様な求め方を共有する良さに気付かせる (答えの妥当性が上がる、どんな場合にでも共通する見方・考え方に気付くことができる)